

楽しく♪ 気軽に♪ 無理なく♪

ふれあい・いきいきサロンは身近なところで気軽に集まることができる場です。
サロン活動を通して楽しいひとときを過ごしましょう♪

今月のサロン紹介

サロンクローバー (厚別区厚別南地区)

サロンクローバーは、特に冬になると外出の機会が少なくなってしまう高齢者のつながりづくりを目的として、上野幌中央第11町内会会長の今野浩司さんと小野栄則さん(現サロン担当部長)が中心となって8年前に立ち上げたサロンです。メンバー20名中男性が13名と、男性の参加者が多いことが特徴の一つです。

サロンでは参加者全員のスピーチの時間があります。一人ひとりが近況報告をして、嬉しかったことは皆で喜び、困ったことは皆で解決。楽しい時間を過ごすとともに、とても頼りになる地域の支え合いの仕組みとなっています。

■開催日時：月1回 第3水曜日

13:30~15:00 または 10:00~12:00

■開催場所：上野幌ファミリーハイツ管理棟集会所

※新型コロナの影響を受け、開催等に変更がある場合があります。



新型コロナウイルス感染症に気をつけて 通いの場を開催するための留意点



- 参加者には「検温」、「マスク着用」、「石けんで丁寧な手洗い」を呼びかける。
 - 複数の人が触れる手すり、ドアノブ、テーブル、椅子などは、適宜、塩素系漂白剤(次亜塩素酸ナトリウム0.05%)やアルコールなどで消毒する。
 - 室内で開催する場合は、1時間に2回以上の換気を行う。
 - 参加者同士の間隔は、互いに手を伸ばしたら手が届く範囲以上空ける。
 - 会話をする際は、正面に立たないように、注意を促す。
 - 文字(紙)や録音、マイクなどを活用するなど、大きな発声を控える工夫をする。
- ※詳しくは、厚生労働省HPで「通いの場を開催するための留意点」を参照ください。

開催が難しい時は・・・

手紙や電話、メールなどで定期的に連絡をとるなど、つながりを保つ工夫をする。

情報トピックス

全市的によくサロン活動が再開したところが増えてきました。しかしながら、茶話会・歌をうたう・食事をすることができないサロンがまだまだ多い状況となっています。コロナ対コミュニケーション（with コロナ）という図式は続きますが、正しくコロナを恐れながら、粘り強くサロン活動を継続し「楽しく・気軽に・無理なく」誰でも参加できる居場所を提供していきましょう！

ふれあい・いきいきサロンとは？



自宅に閉じこもり気味だったり、ご近所とのお付き合いがなかったり、地域でいつものまにか孤立している、という方も少なくありません。「ふれあい・いきいきサロン」とは、市民による市民のための居場所、交流の場として、顔なじみの輪を広げ、そこに住む人々がつながりを持てることを目指す活動です。

サロンの種類

就学前の子どもと親を対象として、親子同士の交流などを目的とした「**子育てサロン**」、高齢者の閉じこもり予防や孤立感の解消を目的とした「**高齢者サロン**」があります。またそれらのサロンを複合させたサロンもあります。

サロンの効果

- 楽しさ・社会参加・孤立感の解消
- 閉じこもりの予防
- 無理なく体を動かせる
- 身近な地域のボランティア活動
- 地域の福祉力の向上

主催者は？

町内会やマンション自治会、ボランティア団体や地域の福祉団体（地区社会福祉協議会や福祉のまち推進センター）などが主に主催しています。個人の方が自宅で主催するサロンもあります。

費用は？

参加費用を取るところと取らないところ様々です。参加費が必要なところでも **200円～300円**程度のおよびです。

問い合わせ

札幌市社会福祉協議会 地域福祉課 地域福祉係 TEL：614-3344 FAX：614-1109

ふれあい・いきいきサロン事業 HP <https://www.sapporo-shakyo.or.jp/join/salon/>

